

エコアクション21

環境経営レポート

第18版 2025年度版（第25期：2024年9月～2025年8月）



作成日 2025年9月12日



(株)ベックカワムラ

1. 環境経営方針

(株)ベックカワムラは地球環境問題の重要性を認識し、事業活動を通して地球環境保全に貢献します。

1. 環境負荷の削減

当社の事業活動で発生する下記の環境負荷を低減します。

- ①製品、サービスに関する環境配慮
- ②化学物質の適正管理・・・・・・・・塗装薬剤、排水薬剤等の適正管理
- ③グリーン購入の推進・・・・・・・・事務用品等のグリーン購入の推進
- ④二酸化炭素排出量の削減・・・・・・・・LPG等化石燃料、購入電力の削減
- ⑤排水量の削減・・・・・・・・必要最低限の使用で水使用量の削減
- ⑥産業廃棄物排出量の削減・・・・・・・・汚泥、廃プラの削減

2. 法規制等の遵守

環境関連の法規制、その他の要求事項を遵守し、環境汚染の改善予防に努めます。

3. 環境保全意識の向上

定期的な教育により環境への取り組みを周知させ、全従業員の環境保全意識の向上に努めます。

改訂年月日 2018年9月1日
制定年月日 2007年11月12日
株式会社 ベックカワムラ
代表取締役社長 河村要一



2. 事業活動の概要

1. 対象事業所名及び代表者名

事業所名	株式会社ベックカワムラ
代表者名	河村要一
所在地	本社 〒430-0852 浜松市中区領家1-7-23 鶴見工場 〒435-0022 浜松市南区鶴見町2702-9
連絡先	鶴見工場 TEL 053-422-8888 FAX 053-422-8887
環境管理責任者	常務取締役 河村浩利
メールアドレス	hiro-kawamura@bec-k.co.jp

2. 事業内容

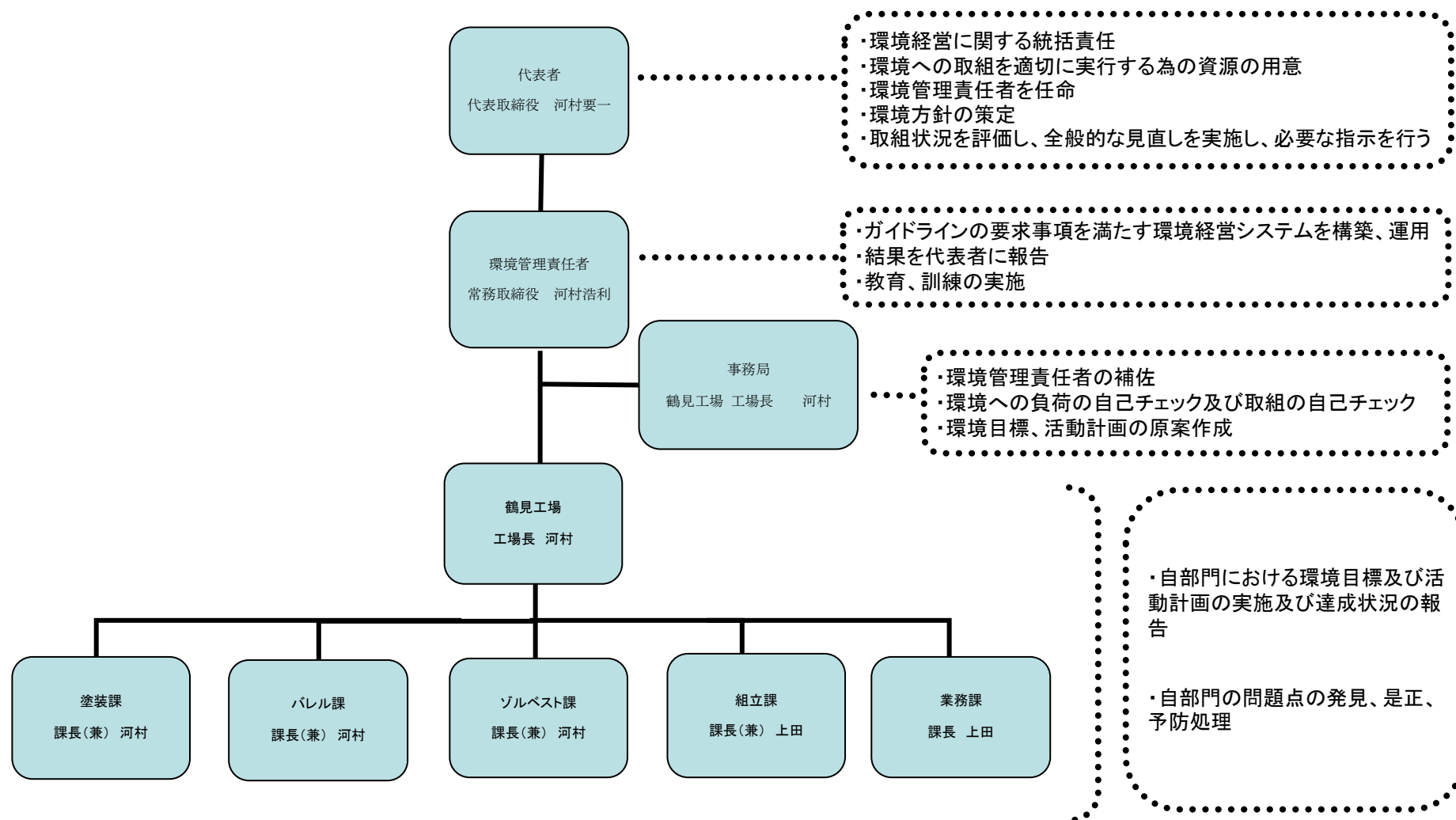
輸送機器部品の加工

- ①カチオン電着塗装（鶴見工場）
- ②バレル研磨（同上）
- ③固体潤滑剤コーティング（同上）

3. 事業規模 2023年8月（2024年9月～2025年8月）

創業	1959年12月
資本金	10,000,000円
従業員数	41名（パート、派遣社員含む）
工場床面積	5,919㎡ 本社：382㎡ 鶴見工場：5,537㎡

3. 実施体制（修正版：コーティング工場閉鎖による2025年1月～） 改訂：2025年1月1日



4. 環境経営目標

1. 中期目標

2022年8月度の実績を基準とする。

環境活動	単位	基準	2023年 8月度目標	2024年 8月度目標	2025年 8月度目標
		2022年 8月度実績			
製品、サービスに関する環境配慮		環境に配慮する	環境に配慮する	環境に配慮する	環境に配慮する
化学物質の適正管理		電着塗装薬剤の適正管理	適正に管理する	適正に管理する	適正に管理する
グリーン購入の推進		購入時にはグリーン購入に配慮する	購入時にはグリーン購入に配慮する	購入時にはグリーン購入に配慮する	購入時にはグリーン購入に配慮する
二酸化炭素排出量の削減 2025年8月迄に3%削減	kg・CO2	585, 871	580, 012	574, 154	568, 295
排水量の削減 2025年8月迄に3%削減	m ³	21, 381	21, 167	20, 953	20, 740
産業廃棄物排出量の削減 2025年8月迄に3%削減	kg	33, 250	32, 918	32, 585	32, 253

※二酸化炭素排出量の把握にはCO2排出係数0.421kg-CO2/kWhを用いました。

※（中部電力㈱の2021年度実排出係数：下記サイトより情報入手
<https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/calc/denki>

2. 短期目標実績

2024年度迄の実績値は下記の通りです。

項目	単位	基準	2023年 8月度実績	2024年 8月度実績	2025年 8月度実績
		2022年 8月度実績			
製品、サービスに関する環境配慮		環境に配慮する	配送ルート の効率化	配送ルート の効率化	配送ルート の効率化
化学物質の適正管理		電着塗装薬剤 の適正管理	排水処理薬剤 の適正管理	樹脂コーティン グ剤の適正管理	バレル研磨剤の 適正管理
グリーン購入の推進		購入時には グリーン購入 に配慮する	事務用品購入 時に検討	事務用品購入 時に検討	事務用品購入 時に検討
二酸化炭素排出量	kg・CO2	585, 871	615, 809	610, 216	533, 430
排水量	m ³	21, 381	21, 892	27, 421	27, 867
産業廃棄物排出量	kg	33, 250	30, 310	37, 880	36, 630

5. 環境経営計画の具体的取組

1. 製品、サービスに関する環境配慮

※通年の活動とする。

取組目標		活動項目	責任者	責任部署
1	製品、サービスに関する環境配慮	環境配慮	河村工場長	塗装課
				バレル課
				ゾルベスト課
			上田課長	業務課
				組立課

2. 化学物質の適正管理

取組目標		活動項目	責任者	責任部署
1	化学物質の適正管理	適正に管理する	河村工場長	塗装課
				バレル課
				ゾルベスト課
			上田課長	業務課

3. グリーン購入の推進

取組目標		活動項目	責任者	責任部署
1	グリーン購入の推進	購入時にはグリーン購入に配慮する	上田課長	業務課

4. 二酸化炭素排出量の削減

取組目標		活動項目	責任者	責任部署
1	化石燃料使用量の1.0%削減	ブタンガス使用量の削減	河村工場長	塗装課
				バレル課
				ゾルベスト課
				作業室
2	電気使用量の1.0%削減	不必要電灯の消灯	河村工場長	塗装課
				バレル課
				ゾルベスト課
			上田課長	業務課
				組立課

4. 二酸化炭素排出量の削減

※通年の活動とする。

取組目標		活動項目	責任者	責任部署
3	電気使用量の1.0%削減	省エネ運転の検討と実施	河村工場長	塗装課
				バレル課
				ゾルベスト課
			上田課長	業務課
				組立課

5. 排水量の削減

取組目標		活動項目	責任者	責任部署
1	排水量の1.0%削減	節水運転の検討と実施	河村工場長	塗装課
				バレル課
				ゾルベスト課
			上田課長	業務課

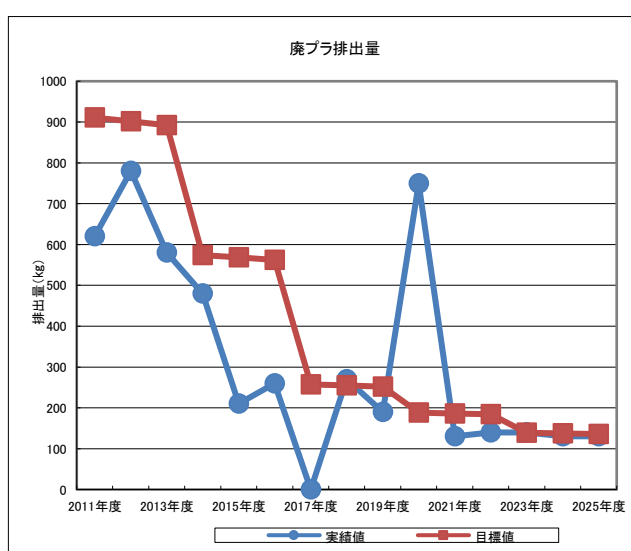
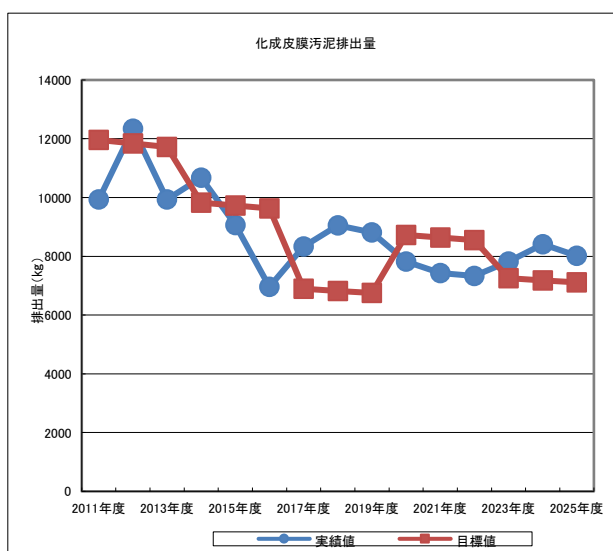
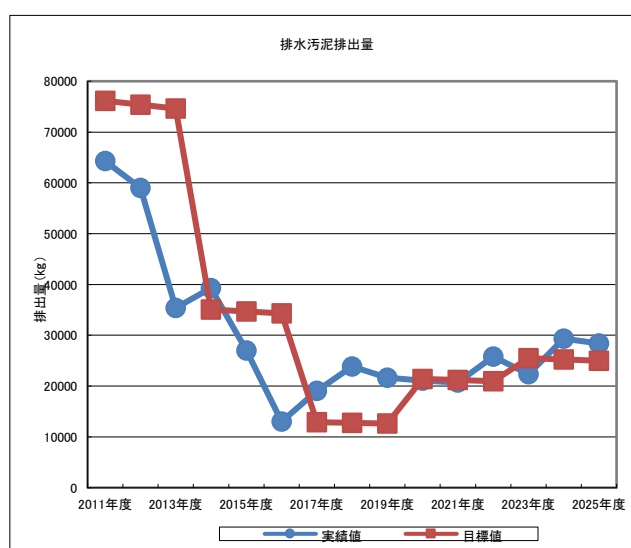
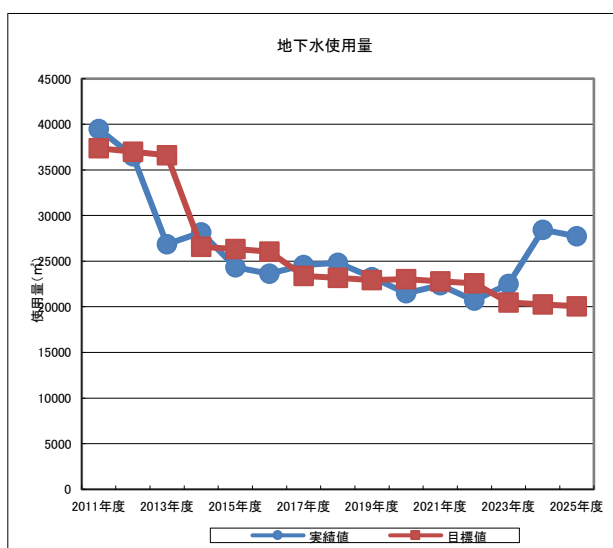
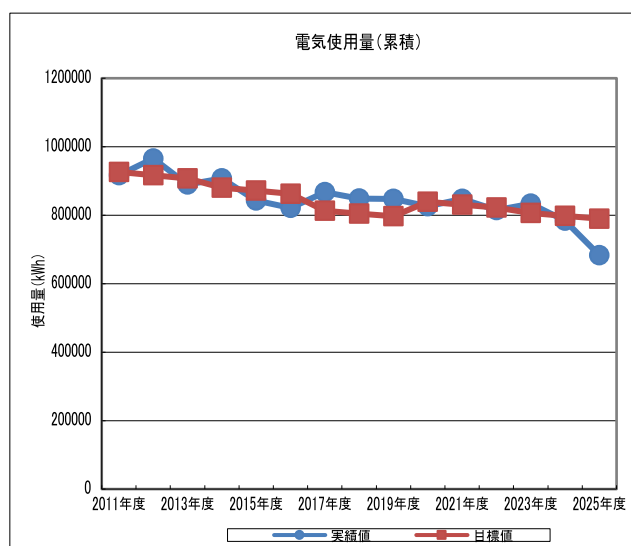
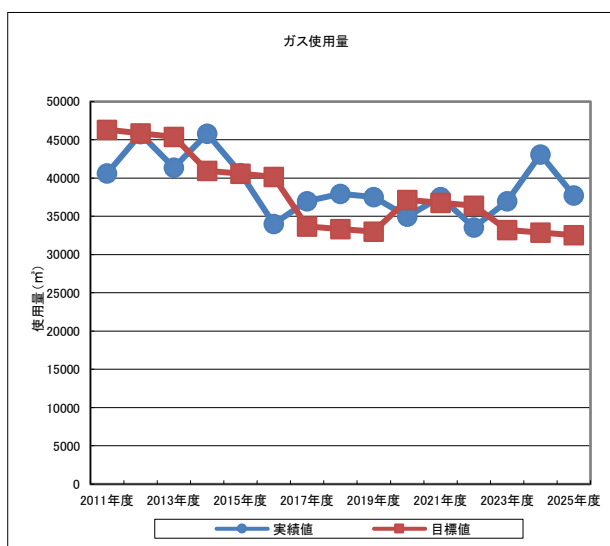
6. 産業廃棄物排出量の削減

取組目標		活動項目	責任者	責任部署
1	汚泥量の1.0%削減	汚泥削減方法の検討と実施	河村工場長	塗装課
2	廃ブラの1.0%削減	廃ブラ削減方法の検討と実施	河村工場長	塗装課
				バレル課
				ゾルベスト課
			上田課長	業務課
				組立課

6-1. 環境経営計画の取組結果の評価、次年度の取組内容

		基準													
項目	単位	2022年8月度 実績値 21年9月～22年8月	2023年 8月度 目標値	2023年8月度 実績値 22年9月～23年8月	目標値 比	評価	2024年 8月度 目標値	2024年8月度 実績値 23年9月～24年8月	目標値 比	評価	2025年 8月度 目標値	2025年8月度 実績値 24年9月～25年8月	目標値 比	評価	
製品、サービスに 関する環境配慮		配送ルート の効率化	環境に 配慮する	配送ルートの 効率化		○	環境に 配慮する	配送ルートの 効率化		○	環境に 配慮する	配送ルートの 効率化		○	
化学物質の 適正管理		電着塗装薬剤の 適正管理	適正に 管理する	排水処理薬剤の 適正管理		○	適正に 管理する	樹脂コーティング 剤の適正管理		○	適正に 管理する	バレル研磨剤の 適正管理		○	
グリーン購入の 推進		事務用品購入時に 検討	購入時には グリーン購 入に配慮す る	事務用品購入時に 検討		○	購入時には グリーン購 入に配慮す る	事務用品購入時に 検討		○	購入時には グリーン 購入に 配慮する	事務用品購入時に 検討		○	
二酸化炭素 排出量	kg・CO2	585,871	580,012	615,809	106%	×	574,154	610,216	106%	×	568,295	533,430	94%	○	
	kg・CO2/売上	1,285		1,151				932				840			
排水量	m³	21,371	21,157	21,892	103%	×	20,944	27,421	131%	×	20,730	27,867	134%	×	
	m³/売上	46.87		40.92				41.86				43.89			
産業廃棄物 排出量	kg	33,250	32,918	30,310	92%	○	32,585	37,880	116%	×	32,253	36,630	114%	×	
	kg/売上	72.92		56.65				57.83				57.69			

6-2. 環境経営計画の取組結果の評価、次年度の取組内容



6-3. 環境経営計画の取組結果の評価、次年度の取組内容

項目		コメント
製品、サービスに関する環境配慮		配送ルートの見直しにより目標を達成した。次年度からは引き続き環境配慮を強化していく事とする。
化学物質の適正管理		バレル研磨剤の適正管理により目標を達成した。次年度からは引き続き化学物質の適正管理を強化していく事とする。
グリーン購入の推進		事務用品購入時に検討した事により目標を達成した。次年度からは引き続きグリーン購入の推進を強化していく事とする。
二酸化炭素排出量	化石燃料	LPガス総使用量にて目標を約15%オーバーにて目標未達。次年度は目標を達成する為、引き続き改善活動を強化していく事とする。
	電気	総使用量にて目標を約15%減にて目標達成。引き続き改善活動を強化していく事とする。
排水量	地下水	総使用量にて目標を約38%オーバーにて目標未達。次年度は目標を達成する為、引き続き改善活動を強化していく事とする。
産業廃棄物排出量	汚泥	排水汚泥にて約13%オーバーにて目標未達、化成汚泥にて約12%目標をオーバーにて目標未達。次年度も引き続き改善活動を強化していく事とする。
	廃プラ	目標をクリアした。次年度も引き続き改善活動を強化していく事とする。

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

作成日：2020年9月17日

作成者：常務取締役 河村浩利

法規	適用内容	適用設備	遵守状況
水質汚濁防止法	特定施設 (65-酸又はアルカリによる表面処理施設)	鶴見工場 排水処理施設	○
浄化槽法	浄化槽法第10条の定期点検	鶴見工場 浄化槽	○
	浄化槽法第11条の法定点検		○
騒音規制法	特定施設	鶴見工場 ブラスト、タンブ ラー、空気圧縮機、 送風機	○
振動規制法	特定施設	鶴見工場 せん断機、圧縮機	○
悪臭防止法	規制基準（浜松市） 臭気指数10	全工場	○
廃棄物処理法	処理業者との契約 産業廃棄物処理委託契約書の作成・保管 マニフェストの起票・保管 交付報告書提出 産業廃棄物保管置場掲示	化成汚泥 廃プラ 廃アルカリ 廃油、他	○
フロン排出抑制法	第一種特定製品 簡易点検の実施	鶴見工場 事務所	○
静岡県生活環境保全条例	一般粉塵発生施設	鶴見工場 吹付塗装ブース	○
労働安全衛生法	作業環境	鶴見工場 有機溶剤 粉塵 等価騒音	○
工場立地法	新設工場の届出	鶴見工場	○

- 環境関連法規等の遵守状況
当社に適用される環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。
- 訴訟等の有無
関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟も過去3年間ありませんでした。

8. 代表者による全体の評価と見直し

2007年12月にエコアクション21をキックオフし、無事に第18期目が終了致しました。今期は二酸化炭素排出量の目標をクリアする事ができました。これは太陽光発電装置を2023年12月に導入した事が要因と思われます。しかしながら、排水量及び産業廃棄物排出量にて目標値をクリアする事ができませんでした。クリアできなかった理由としては引き続き受注量が好調である事が大きな要因であると思われます。来期もより一層の改善活動強化を引き続き行いたいと考えております。

現在のところ、環境方針及び環境経営システムについては変更する必要はないと判断しますが、次期からは2025年8月度の実績値を基準とし、3年間で3%の削減を目標と致します。

2025年9月15日

株式会社ベックカワムラ
代表取締役社長 河村要一



9. 次年度以降の環境経営目標

2025年8月度の実績を基準として2028年8月迄に3%削減する。

		基準	目標			
環境活動	単位	2025年 8月度実績	2026年 8月度目標	2027年 8月度目標	2028年 8月度目標	
製品、サービスに 関する環境配慮		環境に 配慮する	環境に 配慮する	環境に 配慮する	環境に 配慮する	
化学物質の適正管理		電着塗装薬剤 の適正管理	適正に 管理する	適正に 管理する	適正に 管理する	
グリーン購入の推進		購入時には グリーン購入 に配慮する	購入時には グリーン購入 に配慮する	購入時には グリーン購入 に配慮する	購入時には グリーン購入 に配慮する	
二酸化炭素排出量の削減 2028年8月迄に3%削減	kg・ CO ₂	533,430	528,096	522,761	517,427	
排水量の削減 2028年8月迄に3%削減	m ³	27,867	27,588	27,310	27,031	
産業廃棄物排出量の削減 2028年8月迄に3%削減	kg	36,630	36,264	35,897	35,531	

二酸化炭素排出量の把握にはCO₂排出係数0.421kg-CO₂/kWhを用いました。

(中部電力株)の2021年度実排出係数: 下記サイトより情報入手<https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/calc/den>